

第 8 号

こんにちは 青葉のまちセンです



編集・発行 青葉まちづくりセンター
青葉町 3 丁目 (青葉会館内)
8 9 2 - 8 1 7 7 ・ FAX 8 9 2 - 6 6 1 3

まちづくりセンター発の情報紙です。知りたいこと、知らせたいことはありませんか? ご意見・ご感想・投稿大歓迎。よろしくをお願いします。

花壇づくりのグループ募集!

青葉地区まちづくり会議の環境部会では、公園・緑地の利用拡大を通じて環境問題に対する関心を高めることを目指しています。このたび、取り組みの第一弾として、青葉中央公園内の花壇の貸し出しを企画しました。名付けて「青葉中央公園花いっぱい運動」。同公園のステージ裏からテニスコートにかけての花壇と公園北側の道路にある植樹ますを、地域の皆さんの手により、きれいな花でいっぱいにしようというものです。



昨年は植樹ますだけでしたが...

【青葉中央公園花いっぱい運動】

概要 公園内の花壇での植栽と管理。植

栽は 6 月上旬から。土の荒起こしは主催者側で手配します。

費用 自己負担。ただし、初回に植栽する花苗と肥料の一部を提供。

対象 青葉地区の方を中心とする 3 人以上のグループ 10 組 (多数時抽選)

申込 2 月 28 日 (火) までに青葉まちづくりセンターへ電話か直接

子どもたちを守ろう

子どもをねらった犯罪が多発する中、青葉地区でも、子どもたちの安全を確保する取り組みが始まっています。

青葉小学校からの協力依頼にいち早く立ち上がったのは、青葉 13 町内会 (野中 馨会長)。該当地区には多数の小学生がいることに加え、通学路に死角となりやすい坂道が 2 カ所あり、子どもたちの安全確保は切実な課題です。同町内会では、12 月中旬から役員が下校時に合わせた見守りを始めており、呼び掛けに応じて参加者が徐々に増えてきています。

また、青葉町自治連合会全体としても、防犯防災部から各町内会に、子どもたちの見守りを呼び掛けています。

「見守り」といっても、体制を組んでのパトロールを必ず、というわけではあり



「お帰りなさい」(青葉町7丁目) ません。買い物や散歩など、外出する用事を子どもたちの下校時刻(概ね午後1時~3時30分)に合わせるだけでも意味があります。その際、腕章やジャンパーなどで「防犯」や「交通安全」などの表示をすると、より効果的。犯罪者の目には「防犯意識の高い地域」と映り、十分なけん制になります。まちづくり会議で作製したパトロール用の腕章もありますので、ぜひご活用を。

ちょっとお耳を・・・

地域密着で介護をするために

皆さんは、「小規模多機能型居宅介護サービス」をご存知ですか?これは、介護保険に4月から導入される地域密着型サービスの中心となるもので、通所と短期入所、訪問の3機能を兼ね備えています。このサービスを実質的に先取りしてきたのが、青葉町7丁目で活動するNPO法人ホームヘルパーノア(事業責任者:澤出 桃姫子さん)です。

現在、2戸の借家で活動するノアは、地域のニーズによりきめ細かく対応するため、小規模な新施設建設を計画しています。しかし、青葉町7・8丁目の一部では、地区計画(建物の建て方などに関する地域ごとのルール)による制限

青葉地区から新成人代表

1月9日(月)、シェラトンホテル札幌で厚別区新成人のつどいが開かれ、1,100人余りの新成人が出席しました。

式典では、男女1名ずつの新成人代表がお礼のことばを。今年、男性代表として登場したのは、青葉町2丁目にお住まいの佐藤 茂さんです。2人は声を合わせて、「社会の信頼にこたえられる人間」として「人生という名の長距離レースに精一杯チャレンジ」することを、高らかに宣言していました。



この日の気持ちをいつまでもがあり、介護関連の施設を建設できません。このため、地域からの発案で地区計画を一部変更する必要があり、ノアでは、該当地区で趣旨説明に回っています。

変更を実際に決めるのは、地域の方々自身です。もし、ノアの関係者が訪ねてきたら、まずは話を聞いてみてください。

【所長のひとり言】

先日、FM新さっぽろに出演する機会がありました。ラジオに出るのは、もちろん初めて。進行役に助けられながら、花壇づくりや雪中運動会のPRに努めました。あっという間の15分。家族が録音をしてくれたものの、恥ずかしくてまだ聞けずにいます。(部)